令和７年度

中小企業技術者研修

高分子材料技術研修

受 講 案 内

期　間　令和７年９月～11 月

プラスチック材料をはじめとする高分子材料の利用が急速に進んでいます。自動車、航空機等の輸送用機械の軽量化に高分子材料は欠かせません。

高分子材料とは何か、どんな種類があるのか、どんな性質があるのか、どんなふうに利用するのか、品質管理は、分析評価法は？

本研修は、高分子材料の基礎から応用までカバーし、特に高分子材料を製品に利用・応用するための実践的な知識を、座学と実習を通して学びます。

主　催　名古屋市・(公財)名古屋産業振興公社

申込はこちら

https://www.nipc.or.jp/kougyou/p_training/lecture.html

《募 集 要 項》

研修期間と時間　令和 7 年 9 月 2 日～11 月 4 日　毎週火曜日
9 時 30 分～16 時 30 分（昼 1 時間休憩）
講義・実習　計 54 時間 実習はグループに分けて行います。

研 修 会 場　名古屋市工業研究所　名古屋市熱田区六番三丁目 4-41

募 集 人 員　定員 10 名

受 講 料　60,500 円（税込）

修 了 証 書　所定時間数以上出席の受講者には、名古屋市長より、修了証書が交付されます。

申 込 方 法　https://www.nipc.or.jp/kougyou/p_training/doc/gikenshu.doc からダウンロードした申込書フォーム（Word 文書）に必要事項を記入の上、郵送・ファックス・電子メール添付のいずれかにより下記までお申込みください。（数日経過しても当方より連絡がない場合は、お手数ですが、ご連絡をお願いいたします。）
本研修の目的に合うと認められる中小企業者からのお申込みは、先着順に受講決定のご連絡をいたします。
※大企業からのお申込みについては、中小企業者からの受付状況をふまえ、順次受講の可否のご連絡をいたします。また、定員に達したときは、締切日を早めることがありますのでご了承ください。
※中小企業基本法に定める中小企業に該当しない企業を大企業とします。

申 込 先　〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目 4-41 名古屋市工業研究所内
公益財団法人　名古屋産業振興公社　ものづくり人材育成課
電話〈052〉654-1653　FAX〈052〉661-0158 E-mail:kenshu@nipc.or.jp

募集締切日　令和 7 年 8 月 19 日(火) 17 時必着

受講料の納入　受講料の請求書をお送りしますので、開講日前日までにお振込みをご予定ください。

そ の 他　・納入された受講料の払戻しはいたしません。
・講義日程等は変更することがあります。
・研修中の事故については、一切責任を負いません。
・本研修を受講された受講者の事業主に対して、要件を満たす場合、「人材開発支援助成金」制度の利用ができます。

助成金制度の詳細やお問合わせ先
厚生労働省愛知労働局　あいち雇用助成室
TEL 052-688-5758

《研修科目と講師》

月日	時間	科　目	講　師	主な内容
9/2 (火)	3	高分子材料概論 講義	名古屋市工業研究所 職　員	高分子材料のイメージの把握を目的に、高分子の構造と性質、用途、成形方法と改良方法、メーカーの物性表に書かれていることについて、基本事項を解説する。
	3	高分子の分析・特性評価 講義	名古屋市工業研究所 職　員	高分子分析に利用する機器分析手法一般について概観し、目的に応じてどのような手法を選択するかを解説する。
9/9 (火)	3	最新のプラスチック射出成形技術　講義	(株)日本製鋼所　名機製作所 森　高　洋次郎	高付加価値製品製造に向けた多色異材質成形、射出プレス成形などの技術を解説する。
	3	高分子材料の利用技術 講義	元(株)豊田中央研究所 佐　藤　紀　夫	高分子材料、プラスチック材料をいかに利用し、実用技術につなげていくかを事例によって解説する。
9/16 9/30 (火)	6	熱分析 講義と実習	名古屋市工業研究所 職　員	プラスチックの示差走査熱量測定(DSC)、熱重量測定(TG)についての解説と実習を行う。
	6	プラスチックの成形加工、X線CT 講義と実習	名古屋市工業研究所 職　員	押出機の解説と、成形機を使ってプラスチックの成形加工の実習・解説を行う。またX 線C T を用いて樹脂や電装部品の観察を行う。
10/7 10/14 (火)	6	ガスクロマトグラフィー、分子量分布測定 講義と実習	名古屋市工業研究所 職　員	ガスクロマトグラフィー、熱分解ガスクロマトグラフィーおよび高分子材料の分子量分布測定(GPC)についての解説と実習を行う。
	6	分光スペクトル 講義と実習	名古屋市工業研究所 職　員	赤外分光法および紫外可視分光法によるプラスチック材料の評価について解説と実習を行う。
10/21 10/28 (火)	6	プラスチックの強度試験 講義と実習	名古屋市工業研究所 職　員	強度試験の解説と実習を通し、プラスチックの機械特性に関する理解を深める。
	6	核磁気共鳴スペクトル 講義と実習	名古屋市工業研究所 職　員	有機化合物、高分子の同定および構造解析への核磁気共鳴(NMR) の利用法について解説と実習を行う。
11/4 (火)	3	金属・無機材料分析概論 講義	(公財)名古屋産業振興公社 大岡　千洋	有機材料とは異なる金属・無機材料分析について概観する。
	3	分析ケーススタディー 講義とディスカッション	(公財)名古屋産業振興公社 大岡　千洋	実際に起こりうる事例を基にいかに分析評価を行い、問題解決に導くかをディスカッションし、本研修を総括する。

＿＿＿年度　中小企業技術者研修【＿＿＿＿＿技術研修】受講申込書　令和　年　月　日

社　名	（ふりがな）	代表取締役 ないしは それに準ずる 者	
本　社 所在地	〒		
	TEL(　　)　　－　　FAX(　　)　　－		
資本金	万円	従業員数	名
業　種 （下記一覧より記載）		主要製品	

受　講　者			
氏　　名	（ふりがな）	所属・役職	
勤 務 地	〒		
連 絡 先	TEL(　　)　　－　　FAX(　　)　　－		
	E-mail:		
担当業務			
本研修で学びたい事	受講の目的や今回特に学びたい事等ご記入ください。		

連絡責任者			
氏　　名	（ふりがな）	所属・役職	
請 求 書 送 付 先	〒		
連 絡 先	TEL(　　)　　－　　FAX(　　)　　－		
	E-mail:		
この研修を何でお知りになりましたか？			

（業種分類一覧）

0001	食料品製造業	0012	なめし革・同製品・毛皮製造業	0023	輸送用機械器具製造業	0034	学術研究，専門・技術サービス業
0002	飲料・たばこ・飼料製造業	0013	窯業・土石製品製造業	0024	その他製造業	0035	宿泊業，飲食サービス業
0003	繊維工業	0014	鉄鋼業	0025	農・林・水産業	0036	生活関連サービス業，娯楽業
0004	木材・木製品製造業(家具を除く)	0015	非鉄金属製造業	0026	鉱業	0037	教育，学習支援業
0005	家具・装備品製造業	0016	金属製品製造業	0027	建設業	0038	医療，福祉
0006	パルプ・紙・紙加工品製造業	0017	はん用機械器具製造業	0028	電気・ガス・熱供給・水道業	0039	複合サービス事業
0007	印刷・同関連業	0018	生産用機械器具製造業	0029	情報通信業	0040	サービス業（他に分類されないもの）
0008	化学工業	0019	業務用機械器具製造業	0030	運輸業	0041	公務（他に分類されるものを除く）
0009	石油製品・石炭製品製造業	0020	電子部品・デバイス・電子回路製造業	0031	卸売・小売業	0042	分類不能の産業
0010	プラスチック製品製造業	0021	電気機械器具製造業	0032	金融・保険業		
0011	ゴム製品製造業	0022	情報通信機械器具製造業	0033	不動産業・物品賃貸		

※申込書受領後、e-mail、もしくはお電話にて確認の連絡をいたします。連絡がない場合は、お手数ですが（公財）名古屋産業振興公社 052-654-1653 までご連絡ください。
※ご記入いただきました個人情報は、受講者または連絡責任者への連絡や、名古屋市工業研究所及び当公社が開催する研修の案内など、研修の円滑な運営に必要な範囲内に限り、使用させていただきます。
※暴力団の活動に利用されることにより当該暴力団の利益になると認められるときは、受講をお断りします。